

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人柚子の会

令和5年度事業報告 社会福祉法人柚子の会

○令和5年度 事業計画

1. 職員教育

- (1) 上位資格（介護福祉士や介護支援専門員など）取得のための勉強会を開催する。
- (2) 講師を招聘し身体拘束・虐待防止、安全運転についての講習を行う。

2. 職員の確保

- (1) 学校訪問、進路指導担当部署や教員と連絡・情報交換の実施。
- (2) 大学生、専門学校生の実習、研修受入れを行う。

3. 本部体制の確立。

本部長を配置して指揮・命令系統を徹底する。

4. 修理、修繕、改修を行い、ご利用者に快適で安全な環境整備を行う。

5. 感染症や災害発生時の事業継続計画の作成、必要な物品の準備。

○実施内容・結果（総括）

資格取得の奨励、勉強会を行い資格取得を支援した。その結果、介護福祉士試験は2名合格をした。

身体拘束・虐待防止、安全運転講習は各事業所で行った。9月20日、南総文化ホールで淑徳大学の結城康博教授による介護保険制度改正・介護報酬、パワハラ・セクハラ問題をテーマに講演会を行った。柚子の会職員だけでなく、安房地域の行政、居宅介護支援事業所等の関係機関、一般市民の方に参加を呼びかけた結果、約170名の方が参加された。

学校訪問、進路指導担当部署と連絡・情報交換を行った結果、高校卒業予定者1名の応募があり、採用につながった。

本部機能の充実を図るため、本部長の任命し指揮・命令系統を徹底した。

修理、修繕を随時行い、ご利用者の快適な環境整備に努めた。リブチャペル丸山については改修、リブサニーサイド興津は移転の計画を立てた。設計士を選びリブチャペル丸山の改修に向けた業者への説明会、リブサニーサイド興津移転地の購入手続きを行った。

全事業所で感染症、災害発生時を想定した事業継続計画を作成した。また感染症対策、災害発生時の対応について研修、訓練、物品の準備を行った。

1. 法人の概要(令和6年3月31日現在)

(1) 事業内容

事業内容	種類	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	定員	備考
第一種 老人福祉	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームリブ丸山	南房総市川谷302-5	平成9年12月1日	58	
	軽費老人ホーム	ケアハウスリブ丸山	南房総市川谷302-5	平成9年12月1日	15	
	老人居宅介護等事業	ホームヘルプサービスリブ丸山	南房総市川谷302-5	平成11年12月1日	-	
	老人居宅介護等事業	ホームヘルプサービスリブヶア千倉	南房総市千倉町平館686-1	平成17年12月1日	-	
	老人デイサービス事業	デイサービスセンターリブ丸山	南房総市川谷302-5	平成10年4月1日	30	
	老人デイサービス事業	デイサービスセンターリブポート天津	鴨川市天津2922-2	平成13年4月1日	20	
	老人デイサービス事業	デイサービスセンターリブタウン館山	館山市安布里231-12	平成14年10月1日	20	
	老人デイサービス事業	デイサービスセンターリブチャペル丸山	南房総市安馬谷2119	平成15年9月1日	10	
	老人デイサービス事業	デイサービスセンターリブサニーサイト興津	勝浦市興津2640	平成17年4月1日	24	
	老人デイサービス事業	デイサービスセンターリブ花見川	千葉市花見川区花見川3-26-103	平成25年1月1日	15	
	老人短期入所事業	ショートステイリブ丸山	南房総市川谷302-5	平成9年12月1日	12	
	老人短期入所事業	ショートステイリブテラス丸山	南房総市珠師ヶ谷542	平成18年9月1日	20	
	小規模多機能型居宅介護事業	小規模多機能ホームリブスイート千倉	南房総市千倉町忍戸737-1	平成19年5月1日	25	
	小規模多機能型居宅介護事業	小規模多機能ホームリブテラス丸山	南房総市珠師ヶ谷1545-1	平成20年4月1日	18	
認知症対応型老人共同生活援助事業	グループホームリブ花見川	千葉市花見川区花見川3-29-201	平成12年4月1日	18		
認知症対応型老人共同生活援助事業	グループホームリブ丸山	南房総市川谷302-8	平成16年6月1日	18		

施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日
南房総市包括支援センターリブ丸山	南房総市千倉町平館686-1	平成18年10月1日
ケアプランサービスリブ丸山	南房総市川谷302-5	平成11年12月1日
ケアプランサービスリブ花見川	千葉市花見川区花見川3-29-101	平成16年6月1日
ケアプランサービスリブあじさい館山	館山市安布里231-11	平成19年8月1日
ケアプランサービスリブサニーサイト勝浦	勝浦市墨名56	平成22年6月1日

公益事業

(2)組織(令和6年3月31日現在)

理事	定員	7	現員	7	任期	R7.5.定時評議員会開催日まで	資格	社会福祉事業の学識経験者	
	氏名	長島 健治	職業	医師				地域の福祉関係者	
		眞田 邦彦	職業	農業				社会福祉事業の学識経験者	
		山崎 隆也	職業	司法書士(土地家屋調査士)				地域の福祉関係者	
		青木 和詳	職業	民生児童委員				地域の福祉関係者	
		丸 まり子	職業	民生児童委員				地域の福祉関係者	
		清水 崇	職業	本部長				社会福祉事業の学識経験者	
		川名 真啓	職業	施設長				施設長	
	定員	2	現員	2	任期	R7.5.定時評議員会開催日まで	資格	社会福祉事業の学識経験者	
	氏名	中川 洋	職業	医師				財務管理について識見を有する者	
	美保 哲夫	職業	税理士						
定員	8	現員	8	任期	R7.5.定時評議員会開催日まで	資格	社会福祉事業の学識経験者		
氏名	鈴木 静子	職業	無職						
	山田 庸一	職業	会社員						
	宮家 俊治	職業	弁護士						
	笹子 勇	職業	無職				地域の福祉関係者		
	吉井 英明	職業	無職						
	實方 堯年	職業	無職						
	小宮 和廣	職業	無職						
	山口 光治	職業	施設顧問 大学学長				社会福祉事業の学識経験者		
定員	5	現員	5	任期	R7.5.定時評議員会開催日まで	資格	社会福祉事業の学識経験者		
氏名	佐生 勝	職業	農業						
	田邊 元	職業	無職				地域の福祉関係者		
	中川 洋	職業	医師				社会福祉事業の学識経験者		
	美保 哲夫	職業	無職						
	鈴木 弘枝	職業	事務局代表				財務管理について識見を有する者		
評議員選 任・解任委 員	氏名	特別養護老人ホームリブ丸山	施設名	氏名	川名 真啓	就任年月日	平成31年3月16日	法令等に定める資格の有無	有
施設長	氏名	川名 真啓	就任年月日	平成31年3月16日	法令等に定める資格の有無	有			

令和5年度 理事会等 開催状況

		議決事項	
開催年月日	出席者数	監事出席の有無	
令和5年5月27日	5	有	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度決算案について・令和4年度事業報告案について・本部長の人事について 理事、監事候補者の選考について・評議員選任委員の交代について 山崎評議員の辞任に伴う名誉称号の授与について 大仁科技大学 社会福祉学科学士の見学受入などについて 令和5年度定時評議員会の招集について
令和5年6月10日	6	有	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選任について ・その他
令和5年7月26日	6	有	<ul style="list-style-type: none"> 評議員候補者の選考について 評議員選任・解任委員会の招集について 災害時におけるケアハウスのゲストルーム使用について
令和5年12月4日	6	有	<ul style="list-style-type: none"> 補正予算について 給食委託業者及び寝具賃貸業者について ケアハウス運営規程の改定について 就業規則の改定について 本部長の人事について 評議員候補者の推薦について 評議員選任・解任委員会の招集について 評議員会の招集について
令和5年12月11日	5	有	<ul style="list-style-type: none"> 本部長の人事について ・補正予算について
令和6年1月26日	7	有	<ul style="list-style-type: none"> 花見川地区 部長職について
令和6年3月11日	7	有	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 事業計画について ・令和6年度 予算について ・評議員会の招集について
	開催年月日	出席者数	監事出席の有無
	令和5年6月10日	5	有
	令和5年12月11日	6	有
	令和6年3月22日	7	有
	監査年月日	監査者	監査報告の有無
		中川 洋 美保 哲夫	有
	令和5年5月24日		事業報告及びその付属明細書は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。計算関係書類及び財産目録については、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。
	開催年月日	出席者数	監事出席の有無
	令和5年7月31日	4	有
			評議員の選任について(山口光治氏)

令和5年度事業報告／事業所名 特別養護老人ホームリブ丸山

ショートステイリブ丸山

1 施設概要

- (1) 施設の種類 介護老人福祉施設 (指定番号) 1278300072
(介護予防) 短期入所生活介護 (指定番号) 1278300049
- (2) 所在地 千葉県南房総市302-5
- (3) 管理者 川名 真啓
- (4) 定員 介護老人福祉施設58名
(介護予防) 短期生活入所生活介護12名

2 支援目標

- ・入居者個々の状態を明確に把握し、最良のケア提供に努める。とともに、毎日を穏やかに過ごせるよう落ち着いた環境の整備に努める。
- ・特養、ショートステイ入居を希望される方の受け入れに積極的に取り組む。
- ・新規職員を積極的に受け入れ、研修・指導を実施し知識・技術の習得、定着を図る。

3 支援方法

- ・介護課長、リーダーが主となり、巡視、介護技術の指導を行う。食堂利用をできるだけ早期に実現する。
- ・他職種の職員と連携していき、積極的に入所判定会を開催する。
- ・業務に一層のモチベーションを持ってもらい、職場環境をより良くしていく。

4 支援の内容・結果（総括）

- ・職員の業務体制を整え、食事を食堂で召し上がって頂けるようになった。
- ・インフルエンザ感染症が発生したが、拡大防止に努め、早期に終息する事ができた。
- ・特養、ショートステイ入居を希望される方の受け入れを積極的に行うことができた。
- ・職員一人一人の介護力向上の為、内部研修を積極的に行った。

5 各種会議

職員 研修	4月	事故対策研修（喀痰吸引、心肺蘇生） 感染症蔓延防止研修	各種 会議	感染対策会議 入浴会議 *毎月エリア会議
	5月	高齢者虐待防止研修・身体拘束廃止研 修		事故対策会議
	6月	褥瘡予防研修		身体拘束廃止会議 給食会議
	7月	ハラスメント対策研修		感染症対策会議 排泄介助
	8月	身体拘束廃止研修		事故対策会議
	9月	事故防止研修		身体拘束廃止会議
	10月	事故対策研修（喀痰吸引、心肺蘇生） 感染症蔓延防止研修		感染症対策会議 褥瘡防止会議
	11月	身体拘束廃止研修		事故対策会議
	12月	ハラスメント対策研修		身体拘束廃止会議
	1月	高齢者虐待防止研修・身体拘束廃止研 修		感染症対策会議 入浴会議
	2月	褥瘡予防研修		事故対策会議
	3月	事故防止研修		身体拘束廃止会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	花見（ドライブ）	
5月	鯉のぼり見学（ドライブ）	夜間自衛消防・避難誘導訓練
6月	あじさい見学（ドライブ）	
7月	七夕会	
8月	スイカ割り	
9月	お月見	自衛消防・避難誘導訓練
10月	秋桜見学（ドライブ）	
11月	焼き芋	自衛消防・避難誘導訓練
12月	クリスマス会	
1月	書き初め	
2月	茶話会	
3月	ひな祭り	

令和5年度事業報告／事業所名 デイサービスセンターリブ丸山

1 施設概要

- (1) 施設の種類 通所介護・通所型独自サービス (指定番号)1278300031
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷302-5(特養に併設)
- (3) 管理者 新藤 美枝
- (4) 定員 30名

2 支援目標

- ① ご利用者・ご家族との信頼関係を築き、安心して利用することができる事業所を目指す。
- ② 自立支援の為に関わりに努め在宅生活が継続できるように支援する。
- ③ 気持ちのいい挨拶・接遇や介護の質の向上。
- ④ 他事業所との情報共有や連携を図り、円滑に業務を行う。

3 支援方法

- ① コミュニケーションをとる中で信頼関係を築き身近な専門職として相談しやすい環境を整える。
- ② ご利用者の問題点などを職員が共有し統一した関わりを持つ事で在宅生活が継続していくことができるよう支援を行う。
- ③ ご利用者・ご家族・職員間では謙虚な姿勢で対応し、積極的に研修等に参加しスキル向上に努める。
- ④ 居宅介護支援事業所・通所介護事業所等と情報の共有や連携に努める。

4 支援の内容・結果(総括)

- ① ご利用者やご家族と会話する中で細かい変化の気づきや様子を報告することで安心してもらえるような対応ができ家族より得た情報も職員間で共有することが出来た。
- ② ご利用者の問題点を改善できるよう職員間で話し合う時間を作り変化に応じた援助、支援をすることができた。
- ③ ご利用者との親しみやすい関係を築くことで言葉遣いが慣れ合いとなってしまう事があったため改善していきたい。
オンライン視聴の研修は参加できたので次年度は外部研修にも積極的に参加しご利用者に気持ちよく過ごして頂けるよう向上に努めた。
- ④ ご利用者のわずかな変化もケアマネージャーに報告し、情報を共有することができた。また、急な新規利用者受入も早急に対応できた。

5 各種会議

職員 研修	4月	移動・体位交換	各種 会議	事故防止検討会議
	5月	ハラスメント		
	6月	リスクマネジメント		
	7月	認知症の理解		事故防止検討会議
	8月	感染症		
	9月	プライバシー		
	10月	リハビリ・機能訓練		事故防止検討会議
	11月	身体拘束・高齢者虐待		
	12月	食事介助		
	1月	入浴介助・排泄介助		事故防止検討会議
	2月	BCP		
	3月	緊急時対応		※毎月エリア会議・スタッフ会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事計画	防災計画
4月	お花見	
5月	鯉のぼり見学	自衛消防及び避難誘導訓練
6月	紫陽花見学	
7月	七夕	
8月	かき氷	
9月	敬老会・運動会	自衛消防及び避難誘導訓練
10月	ハロウィン	
11月	紅葉見学	自衛消防及び避難誘導訓練
12月	クリスマス会・忘年会	
1月	初詣	
2月	節分	
3月	ひな祭り	

1 施設概要

- (1) 施設の種類 軽費老人ホーム（ケアハウス）（指定番号）
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷 302-5（特養に併設）
- (3) 管理者 川名 真啓
- (4) 定員 15名

2 支援目標

- ① 心身の健康を保持し、安全かつ快適な生活を提供する。
- ② 自己決定・自己選択を大切にする。
- ③ 職員のスキルアップを図る。

3 支援方法

- ① ・入居者様、御家族と積極的にコミュニケーションを取り信頼関係を築く
・入居者様の身体等の変化に対し早期発見・早期対応が出来る様にする
・スタッフ（ケアハウス職員・ケアマネージャー・介護サービス担当者等）間の連携を密にする。
- ② その人らしく生活できるように入居者様個々のリズムに合わせて支援していく
- ③ 研修内容を充実させ、介護の質の向上を図る

4 支援の内容・結果（総括）

- ① ・入居者様の介護サービスや医療面でのフォロー等判断に迷う事案も多くあった。
・ADLの低下や入院等から入退所が多くあり、新規の入所者様との信頼関係に努め、スタッフ間やご家族に相談し密に連携・対応を心がけた。
- ② 職員間で申し送り等で入居者様の生活状況を把握し、不安等の訴えを聞き逃さないよう寄り添い個々に合った対応を心がけ支援をおこなった。
- ③ ウェブサイトにて実施し、個々のスキル向上を今後も務める。

5 各種会議

職員研修	4月	ハラスメント	各種会議	身体拘束・感染症・事故防止委員会 ケアハウス会議 給食会議
	5月	高齢者虐待①		
	6月	感染症・食中毒まん延防止①		給食会議
	7月	BCP①		身体拘束・感染症・事故防止委員会 ケアハウス会議
	8月	身体拘束①		給食会議
	9月			
	10月	リスクマネジメント		身体拘束・感染症・事故防止委員会 ケアハウス会議 給食会議
	11月	高齢者虐待②		
	12月	感染症・食中毒まん延防止②		給食会議
	1月	BCP②		身体拘束・感染症・事故防止委員会 ケアハウス会議
	2月	身体拘束②		給食会議
	3月			※毎月エリア会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	花見ドライブ 懇談会・誕生日会	
5月	端午の節句	
6月	個別買物援助 あじさいドライブ	夜間想定自衛消防及び避難誘導訓練
7月	七夕 納涼祭	
8月	懇談会・誕生日会 納涼お茶会	
9月	敬老会	自衛消防及び避難誘導訓練
10月	懇談会・誕生日会	
11月	外食・外出	
12月	紅葉ドライブ クリスマス会	自衛消防及び避難誘導訓練
1月	初詣 懇談会・誕生日会	
2月	節分	
3月	桃の節句	

1 施設概要

- (1) 施設の種類 訪問介護・訪問型独自サービス (指定番号) 1878300023
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷302-5 (特養に併設)
- (3) 施設の概要 身体障害者 重度訪問介護 (指定番号) 1215100072
- (4) 施設の概要 一般乗用車旅客自動車運送事業 (患者等輸送限定)
(関自旅二第3983)
- (5) 施設の概要 自家用自動車による有償運送 (千運輸第122)
- (6) 管理者 平柳 栄子

2 支援目標

- ① その人が喜びを感じ生活を送れる為に、私たちに出来るのは「何か」を考え共に行動する。
- ② 感染症対策を講じて、サービスが滞る事なく継続していく事が出来るようにする。

3 支援方法

- ① 相手の目線に合わせて笑顔で挨拶をし、話を傾聴する。
- ② 介護技術向上に関する研修を実施し、スキルアップに努める。
- ③ その人が、「何ができ・何が出来ない・何を望む」のかを職員同士共有し、ケアマネジャーなど他職種との連携を図る。
- ④ 状態変化等見られる場合は、ケアカンファレンスを行い、援助計画の見直しを行う。
- ⑤ 訪問内容の統一化として手順書の作成をし、変更の都度申し送りを記し周知する。
- ⑥ コロナウイルスなど感染予防対策について、職員間、関係機関、ご利用者・ご家族と最新情報の共有を行い、対策の周知徹底を行う。

4 支援の内容・結果 (総括)

- ① 職員同士でコミュニケーションを取り情報を共有する事が出来た。
- ② 内部研修や介護技術に関する動画を視聴し、意見交換や職員間でより良い介護技術の方法など話し合う事が出来た。
- ③ ご利用者の状況を把握し自立支援の為に声掛け、常に何を望むかを考え行動することが出来た。
- ④ ご利用者の状況を把握し、変化が見られた際は直ぐにケアマネジャーに連絡を取り援助内容の見直しをする事ができた。
- ⑤ 職員間での情報を共有する為に申し送りノートや電話対応時のノートを作り周知し統一することが出来た。
- ⑥ 感染症対策の為に、職員間、関係機関、ご利用者、ご家族と情報共有し感染症対策の周知を徹底することが出来た。

5 各種会議

職員 研修	4月	内部勉強会： コロナ対策ガウンの装着方法 ハラスメントについて	各種 会議	*スタッフ会議 毎月第3金 事故防止検討会議
	5月	内部勉強会： 介護保険事業における BCP計画について		高齢者虐待防止委員会 感染症対策委員会
	6月	内部勉強会：感染症についての理解		
	7月	内部勉強会：食事介護と口腔ケア		事故防止検討会議
	8月	内部勉強会：緊急時の対応について		
	9月	内部勉強会：感染症及び食中毒の 発生予防と対策		*ケース会議 要認定変更時 状態の変化時等
	10月	内部勉強会：入浴介助について		事故防止検討会議
	11月	内部勉強会：感染症についての対策 ：高齢者虐待		高齢者虐待防止委員会 感染症対策委員会
	12月	内部勉強会：褥瘡について		
	1月	内部勉強会：ベッドから車イスへの移 乗方法		事故防止検討会議
	2月	内部勉強会：今年度の反省と見直し		
	3月	利用状況の報告 *毎月施設内勉強会		*毎月エリア会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事計画	防災計画
4月	*スキルアップ講座への受講 (適用月)	
5月		自衛消防・避難誘導訓練(夜間)
6月		
7月		
8月		
9月		自衛消防・避難誘導訓練
10月		
11月		自衛消防・避難誘導訓練
12月		
1月		
2月		
3月		

1 施設概要

- (1) 施設の種類 居宅介護支援 (指定番号) 1278300015
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷302-5 (特養に併設)
- (3) 管理者 土屋暢子

2 支援目標

介護保険法令の趣旨に従いご利用者、ご家族が在宅サービスを適切に利用し自宅での生活が継続できるよう支援する

3 支援方法

① 在宅生活継続への支援

利用者が自分らしく可能な限り自宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を送ることが出来る

② 関係機関との連携

市町村、病院、地域包括支援センター、介護保険施設等と必要な連携を図り情報提供・情報収集を行い適切なサービスをスムーズに行う

③ 職員の資質向上

介護支援専門員としての専門性と資質向上を図る為、介護保険についての情報収集、その他必要な研修に参加する

④ 利用者の尊厳を守る

利用者の尊厳を尊重し利用者の立場になって居宅サービスが不当に偏ることなく公正中立に行う

4 支援内容・結果 (総括)

- ① ご本人やご家族の意向を確認し介護保険サービス以外にも社会資源を組み合わせ提案することができた。
- ② 関係機関や介護サービス事業所との情報を共有し連携に努めた。
- ③ 外部での研修やオンライン研修に積極的に参加し情報収集をおこなうことができた。
- ④ ご利用者、ご家族の意思に基づいたケアマネジメントを確保するために複数の事業所の提案を行い公正中立な立場から情報を提供することが出来た。

5 各種会議

職員 研修	4月		各種 会議	*毎月、建屋会議
	5月			
	6月	感染症研修、介護支援専門員連絡会		
	7月	感染委員会、		
	8月			
	9月	虐待防止研修、南房総市福祉サービス事業所連絡会		
	10月	介護支援専門員研修会、虐待委員会		
	11月			
	12月	ハラスメント研修		
	1月			
	2月	BCP 研修・		
	3月	集団指導説明会、介護支援専門員連絡会		

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月		
5月		自衛消防、避難訓練（夜間）
6月		
7月		
8月		
9月		自衛消防、避難訓練
10月		
11月		自衛消防、避難訓練
12月		
1月		
2月		
3月		

1 施設概要

- (1) 施設の種類 (介護予防) 短期入所生活介護 (指定番号) 127800022
- (2) 所在地 千葉県南房総市珠師ケ谷542
- (3) 管理者 庄司順子
- (4) 定員 20名

2 支援目標

- ① ケアマネージャー、行政等と連携し積極的にご利用者を受け入れる。ご利用者、ご家族などの緊急時にいつでもご利用出来る支援体制を整え、頼れる施設としてご利用者の在宅生活の基盤を広く支援する。体調の変化等、異常を早期に察知してご利用者の安全を最優先する。
- ② 体調の変化等、異常を早期に察知してご利用者の安全を最優先する。
- ③ ご利用者の個性を大切にすると共に的確なサポートを常に心掛ける。
- ④ 職員一人一人は新しい知識の習得、相談技術の向上を図る。

3 支援方法

- ① ご家族等の緊急性を十分に汲み取り、いつでもご利用可能な相談窓口を開設必要な時にご利用者、ご家族の気持ちになって心身の健康保持及び家庭生活の安全確保を支援する。
- ② ご家族 ケアマネージャーへの報告と連絡調整を密に行い、明確な状況把握と情報の共有を実施し、適切なケアの安心・安全を守る。
- ③ 利用時の不安や孤独感を感じさせないよう心理的な支援を心掛け、絶えず目配り気配りを行い、自宅での習慣など継続出来る支援をし、楽しく生活が出来る様に支援する。
- ④ 法人の研修・勉強会の参加だけでなく、リモート研修やウェブ研修、認知症基礎研修等への参加を行い、利用者の状況に合わせ日々の介護に活かす。

4 支援の内容・結果 (総括)

- ① 新型コロナウイルス感染対策を行いながら緊急のご要望に対応でき、安心して利用して頂けるように努めた。
- ② 新型コロナウイルスが発生しクラスターが発生した時は行政、保健所、家族、ケアマネージャーと密に連絡を取り合い利用者の状況を報告した。日々の体調が変化した時も早急に報告、また毎月モニタリングの用紙での報告も行った。
- ③ 「就寝は21時頃、それまでテレビを見ている」「入れ歯は付けて寝る」「食事のご飯はおにぎりで食べる」などお一人お一人ご自宅での習慣を継続して支援した。
毎月の行事や施設内の飾り カレンダー作成などご利用者と楽しんで頂けるように取り組んだ、毎日のおやつ前に体操や歌、脳トレ等行いその様子を2か月に一回広報誌(あおっ会)を作成し紹介した。
- ④ インターネット研修を活用し、感染症対策や身体拘束について等の研修に取り組む事

が出来た。又、ケアマネージャー試験や初任者研修に挑戦しスキルアップに努めた。

5 各種会議 毎月第3週職員会議 随時事故防止検討会議

職員 研 修	4月	心肺蘇生 人権擁護虐待	各 種 会 議	身体拘束 事故防止
	5月	緊急時対応 BCP 策定		BCP 策定
	6月	心肺蘇生 身体拘束		身体拘束 事故防止
	7月	脱水 熱中症 事故防止		
	8月	心肺蘇生酸素ボンベ取り扱い ハラスメント		BCP 策定
	9月	感染症 まん延の予防 コロナ		感染症対策
	10月	心肺蘇生 人権擁護虐待		身体拘束 事故防止
	11月	嘔吐物の処理 インフルエンザ対応 BCP 策定		人権擁護虐待
	12月	心肺蘇生酸素ボンベ取り扱い身体拘束		
	1月	ノロウイルス バルーンカテーテル 感染症		感染症対策
	2月	心肺蘇生 事故防止		身体拘束 事故防止
	3月	嚥下 誤嚥 ハラスメント		ハラスメント

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見 ドライブ 桜	
5月	端午の節句お茶会 ドライブ こいのぼり	
6月	ドライブ あじさい	避難訓練 (消防職員) 水害
7月	七夕	
8月	花火大会	
9月	敬老の日 ドライブ 彼岸花	
10月	運動会	
11月	ドライブ 紅葉	
12月	クリスマス会	避難訓練 火災
1月	初詣 正月	
2月	節分	
3月	ひな祭り	

1 施設概要

- (1) 施設の種類 小規模多機能型居宅介護(指定番号)1298800044
- (2) 所在地 千葉県南房総市珠師ヶ谷 1545-1
- (3) 管理者 佐藤 由紀子
- (4) 定員 25 名

2 支援目標

- ① 個別の外出
- ② エンジョイプラン、機能訓練により、一人一人のご利用者に合った支援を実施する
- ③ 資格を取得し、介護の質、サービスの向上を図る

3 支援方法

- ① 車内を換気し、少人数で季節に合った場所にドライブに出かけ、楽しんで頂く。
又、本人のゆかりのある土地を訪れ、懐かしんで頂く。
- ② ご利用者、ご本人、ご家族と相談しながら、自分の為に行う「生活プラン」みんなの為に出来る、「役割プラン」本人に合った機能訓練を実施する。
- ③ 施設内での事案に意見を出し合い、情報を共有し、職員間で連携を図る。
新人職員にはリーダーを中心として、専門的な指導をする。又、知識、技術の向上とサービスの質を全体で高めるよう努めていく。

4 支援の内容・結果（総括）

- ① 季節ごとに見頃を迎える花や花木を見学しにドライブに行った。
又、行ってみたい場所を普段の会話の中で聞いて、その地を訪れた。
その際、「懐かしい」「来て良かった」と喜んでいただけた。
- ② 「生活プラン」では利用者自身で出来る、身の回りの着替え、髭剃り等、清潔を保つ事を重点的に行った。「役割プラン」では食器拭き、洗濯物畳み、コップ洗いなどをおこなって頂いた。結果、「又、仕事があったら言ってほしい」と自発的な行動に繋がった。
- ③ 予め、業務手順をまとめたマニュアルを作成して、新人職員の研修に利用した。その結果、手順を確認しながらやることで、業務が円滑にまわった。

5 各種会議

職員研修	4月	柚子の会理念	各種会議	運営推進会議
	5月	感染症対策（動画研修）		事故防止検討会議
	6月	介護技術		運営推進会議
	7月	リスクマネジメント（動画研修）		
	8月	緊急対応について		運営推進会議
	9月	接遇について		事故防止検討会議
	10月	事故防止対策		運営推進会議
	11月	感染予防対策（動画研修）		
	12月	ハラスメント防止対策（動画研修）		運営推進会議
	1月	認知症の理解		事故防止検討会議
	2月	災害時の対応について		運営推進会議
	3月	リハビリ、機能訓練		

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見（個別ドライブ、行事食）	
5月	こいのぼり見学（行事食）	
6月	紫陽花見学（行事食）	
7月	七夕（個別ドライブ、行事食）	
8月	夕涼み会（個別ドライブ、行事食）	
9月	敬老会（個別ドライブ、行事食）	
10月	収穫祭（個別ドライブ、行事食）	
11月	紅葉見学（個別ドライブ、行事食）	
12月	クリスマス会（行事食、プレゼント）	
1月	新年会（行事食）	
2月	節分（個別ドライブ、恵方巻）	
3月	ひな祭り（行事食、ちらしずし）	

1 施設概要

- (1) 施設の種類 地域密着型通所介護・通所型独自サービス
(指定番号) 1278300080
- (2) 所在地 千葉県南房総市安馬谷2119
- (3) 管理者 石井 彩美
- (4) 定員 10名

2 支援目標

- ① ご利用者・ご家族と日頃から挨拶や声掛けをし、相談しやすい関係を築き、安心してご利用していただける雰囲気を作る。
- ② 地域密着型サービスとして地域のイベントへ参加し近所や地域の方との交流を図る。
- ③ 研修を通して介護の質の向上と共に、感染予防対策をしっかりと行い安全で楽しく過ごしていただくための事業所作り。
- ④ デイサービスで個々のやりがいや楽しみを見出すことができるレクリエーションや行事・個別による作業の提供。

3 支援方法

- ① 職員が連携を取り、ご利用者様への気づかいやご家族様への声掛けあいさつを行い、専門職として相談しやすいよう職員一人一人が心掛ける。
- ② 季節を感じる行事・外出の企画、地元でのイベントへの参加を行い、肌で季節を感じ、気分転換も含め楽しんで頂けるように提案していく。また移動販売等を取り入れ、地域貢献や交流を図る。
- ③ 各職員が介護技術向上の為、研修に参加。職員間で研修報告を行い、情報の共有。連携や声掛けを行い、状況の把握に務め、感染予防対策による消毒の徹底を行い、安全に過ごして頂けるように支援を行っていく。
- ④ 個々の残存機能や知恵を活かし、調理のお手伝いや野菜育て方や花の植え替え・散歩等、個々にあった支援見つけを取り入れて行っていく。

4 支援の内容・結果（総括）

今年は丁寧な言葉使いを周知していた事もあり、各職員が言葉に意識して取り組んでいた。外部研修にも少しずつ参加でき、職員の刺激になったと思う。会議では利用者の状態の把握や共有が職員間で行えていた。

新型コロナウイルス感染症も低迷してきた事により、制限なく買い物外出やおやつ外出が行え、利用者にも喜ばれていた。また慰問を再開し、行事も幅広く取り入れ行う事が出来た。安定していた利用者も8月以降、入院や入所などの方で入れ替わりが多くあったが、声掛けを行い、短時間利用や振替利用を受け入れる事で回復傾向が見られた。また花壇・畑は年間通して取り入れ、収穫し調理作業まで行い、食事にも楽しみ方が増えた。散歩では下肢筋力低下防止の予防を兼ねて行っている。

5 各種会議

職員 研修	4月	柚子の会理念	各種 会議	定例会議 毎月
	5月	接遇について		事故防止検討会議 随時
	6月	虐待防止・リスクマネジメント		
	7月	認知症の理解		運営推進会議
	8月	ハラスメント		
	9月	感染予防・対応		
	10月	車両確認		
	11月	虐待防止		
	12月	プライバシー		
	1月	食事介助		
	2月	排泄介助		運営推進会議
	3月	緊急時対応		

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	桜お花見	
5月	鯉のぼり見学・買い物外出	
6月	あじさい見学	避難訓練
7月	納涼祭	
8月	かき氷	
9月	敬老会	
10月	運動会	
11月	紅葉ドライブ・焼き芋	避難訓練
12月	クリスマス会・忘年会	
1月	初詣・新年会	
2月	節分	
3月	ひな祭り	

1 施設概要

- (1) 施設の種類 認知症対応型共同生活介護 (指定番号)1278300098
(2) 所在地 千葉県南房総市川谷 302-8
(3) 管理者 高橋 龍平
(4) 定員 18名

2 支援目標

- ① ご利用者様に寄り添い、その人らしく過ごせるように支援を行う。
- ② 認知症に対する理解をさらに深め、残存機能を活かし自立支援に取り組む。
- ③ 地域行事への参加、学校との交流など、地域に根ざしたサービスに取り組む。
- ④ 感染症対策の強化、及び蔓延時に事業所運営を円滑に継続できるように取り組む。

3 支援方法

- ① 居室担当職員を中心に、その方の生活歴、ADL、病状の把握を行い、ケアプランに繋げる。職員全員がケアプランの内容を把握してケアを行う。
- ② 外部研修の積極的な参加、内部研修の実施を行う事により、認知症に対するの専門的な知識を習得し、職員のスキルアップに繋げる。
- ③ 地域行事への参加、施設内行事へのご家族、地域住民の参加を呼び掛け、交流を深めると共に信頼関係の構築に努める。
- ④ 感染症に対する情報の共有、座学による研修だけでなく、蔓延時を想定した訓練の実施し、BCPを密に更新する。

4 支援の内容・結果（総括）

- ① スタッフ会議及び、出勤時の申し送り等で、居室担当職員を中心に、ご利用者の変化と現状の把握、及び情報の共有を行い、意見交換を行う事で、ケアプランにつなげていました。また、ケアプランを更新した際には、個人ファイルを活用し、全職員が内容を把握することに努めた。
- ② 感染症対策に伴い、外部研修への参加については、実施できなかった。毎月、スタッフ会議前にWEB内部研修を実施し、各職員のスキルアップにつなげると共に、認知症の理解を深め、ご利用者の自立支援を行った。
- ③ 感染症対策に伴い、地域行事への参加や、地域住民・家族の来所を控えて頂いたため、交流活動が実施でき。そのため、毎月ご家族等に送付している手紙にご本人の写真と同封したり、運営推進会議委員の方に事業所内で実施した行事の写真を送付するなど、交流の代わりとなる取り組みに努めた。
- ④ Web研修を実施すると共に、実際に蔓延時を想定した実地訓練を行なった。それを基に感染症マニュアルの改訂やBCPの更新を行い、感染及び蔓延防止に努めた。

5 各種会議

職員研修	4月	柚子の会 理念について	各種会議	スタッフ会議・ケース会議・ 身体拘束委員会会議・感染症 委員会会議
	5月	ハラスメントについて		スタッフ会議・運営推進会議
	6月	感染症について①		スタッフ会議・ケース会議
	7月	感染症について②		スタッフ会議・ケース会議・ 身体拘束委員会会議・感染症 委員会会議
	8月	虐待防止について		スタッフ会議・ケース会議
	9月	身体拘束廃止について①		スタッフ会議・運営推進会議
	10月	身体拘束廃止について②		スタッフ会議・ケース会議・ 身体拘束委員会会議・感染症 委員会会議
	11月	リスクマネジメントについて①		スタッフ会議・運営推進会議
	12月	リスクマネジメントについて②		スタッフ会議・ケース会議
	1月	認知症について		スタッフ会議・ケース会議・ 身体拘束委員会会議・感染症 委員会会議
	2月	BCPについて①		スタッフ会議・ケース会議
	3月	BCPについて②		スタッフ会議・運営推進会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事計画	防災計画
4月	お花見	
5月	こいのぼり見学	
6月	紫陽花見学	避難訓練
7月	納涼祭	
8月	夕涼み会	
9月	敬老会	避難訓練
10月	ハロウィン会	
11月	紅葉見学	
12月	クリスマス会	避難訓練
1月	新年会	
2月	節分	
3月	ひな祭り	

1 施設概要

- (1) 施設の種類 通所介護・通所型独自サービス (指定番号)1271000257
- (2) 所在地 千葉県館山市安布里231-12
- (3) 管理者 山口省吾
- (4) 定員 20名

2 支援目標

- ① 気配り・目配り・心配り
- ② ご利用者・ご家族や他の専門職と連携し交流を図る
- ③ 介護力・サービスの質の向上

3 支援方法

- ① ご利用者の事を第一に考え、支援をする（気配り）。
施設全体を見渡し、常にご利用者の状態・状況・環境を把握し、
ご利用者に快適に過ごして頂けるようにする（目配り）。
コミュニケーションをとり、何を求めているか察知し行動する。
常に気に掛け、ご利用者の楽しみを作る（心配り）
- ② ご利用者の様子・変化をご家族・ケアマネと情報交換・共有を密に行う。
月に一度は、ケアマネを訪問し出来ない時は電話で状況を伝える。
- ③ 支援内容・方法を統一するように話し合い、どの職員に於いても同一サービスに努める。
ご利用者の自立した生活が営めるように出来る事を見守り、出来ない事も再び出来るように支援する。

4 支援の内容・結果（総括）

- ① ご利用者に満足して頂けるよう個別支援部分において、対応できていたが、全体のレクリエーションの時間を楽しみたい利用者様に対し歌などのレクリエーションがうるさいと感じてしまう利用者様もみられ、その状況の調整をするために苦戦してしまう状況がみられた。
- ② ご家族やケアマネとの連携は綿密に出来ていた。管理者不在の際も、職員が必要事項の連絡を必ずして徹底できていた。
- ③ 毎日の朝礼や会議において、ご利用者の自立支援についてより適切な介助が出来るよう、職員皆が意見を出し、情報共有できていた。

5 各種会議

職員 研 修	4月	職員心得について	各 種 会 議	リブタウン会議
	5月	車両事故防止について		車両事故防止について
	6月	送迎中の急変時対応について		リブタウン会議
	7月	介護技術について（食事・入浴・排泄）		リブタウン会議
	8月	介護技術について（車椅子・移乗）		リブタウン会議
	9月	認知症対応について		リブタウン会議
	10月	リハビリ・機能訓練について		リブタウン会議
	11月	感染症予防について		感染症防止について
	12月	感染症予防について		車両事故防止について
	1月	リスクマネジメント		リブタウン会議
	2月	予防アクティビティについて		リブタウン会議
	3月	緊急対応について		虐待防止について

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見ドライブ	
5月	鯉のぼり見学	
6月	あじさい見学	防災訓練
7月	七夕祭り	
8月	かき氷	
9月	敬老会	
10月	ハロウィン・焼き芋	
11月	紅葉狩り	防災訓練
12月	クリスマス会	
1月	初詣ドライブ	
2月	節分	
3月	ひな祭り	

令和5年度事業計画／事業所名ケアプランサービスリブあじさい館山

1 施設概要

- (1) 施設の種類 居宅支援事業所 (指定番号)1271000646
- (2) 所在地 千葉県館山市安布里231-12
- (3) 指定年月日 平成19年8月1日
- (4) 管理者 田島 由希

2 支援目標

- ① 介護支援専門員の資質・向上を図る。
- ② 安定した運営ができるよう努める。

3 支援方法

- ① ケアマネジメント技術向上の為の外部・内部研修に参加する。
 - ・行政による研修
 - ・ケアマネ連絡協議会による研修
 - ・法人内研修
 - ・向上につながる資格取得
- ② 集中減算管理・加算算定
 - ・事業所集中減算にならないよう80%を超えない様、数字管理を行い回避する
 - ・根拠となる書類の確認を徹底し加算を確実に算定できるようにする

4 支援の内容・結果（統括）

- ① 行政及びケアマネ連絡協議会の出来る限りの研修に参加した。
又、介護支援専門員から主任ケアマネ取得に向け本年度中に取得する事ができた。
- ② 事業所集中減算にならない様数字の管理を行い調整できた。
安定した運営に関しては、職員体制が確保できていたが、受け入れ人数の維持に対し、予防支援の人数が多い状況を含め収支に関して苦戦が続く形になってしまった。

5 各種会議

職員 研修	4月		各種 会議	館山市連絡協議会会議
	5月	虐待防止研修 認知症研修		
	6月	感染症研修		管理者会議
	7月			
	8月			ケアマネ会議
	9月	パワハラ・セクハラ研修		
	10月			
	11月	高齢者虐待防止研修		
	12月			
	1月	BCP研修 ハラスメント研修		
	2月			
	3月	感染症研修 プライバシー研修		

6 年間行事計画／防災訓練実施結果

	行事	防災実施
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		防災訓練
12月		
1月		
2月		
3月		BCPシュミレーション (机上)

令和5年度事業報告／事業所名 小規模多機能ホームリブスイート千倉

1 施設概要

- (1) 施設の種類 小規模多機能型居宅介護支援施設 (指定番号) 129800036
- (2) 所在地 千葉県南房総市千倉町忽戸737-1
- (3) 指定年月日 平成19年5月1日
- (4) 管理者 伊佐 隆治
- (5) 施設の概要 通いを中心に、訪問、泊まりの3つのサービス形態が一つとなり、24時間切れ目のないサービスを提供する施設
- (6) 定員 25名

2 支援目標

- ① 出来る限り地域の中で、その人らしく暮らすために365日・24時間の安心を提供します。
- ② 夜間の不安やおむつ交換、安否の確認等や緊急時の支援体制の確立し、安心して過ごせるように支援していく。
- ③ ご利用者様だけではなく、ご家族の意向や悩みなどを聞き、より良い介護生活が送れるに支援していく。
- ④ 医療機関との連携をとり、より良い生活が出来る様に支援していく。

3 支援方法

- ① 関わりの中で、一人ひとりに寄り添い、気持ちに向き合い、時間をかけて丁寧に支えて思いや願いを受け止め、ご本人の「暮らし」の中に楽しみが見出せるような支援を様々な角度から提供していく。
- ② いつでも対応できるように相談窓口を設けて支援していく。ご利用者のそれまでの日常の暮らしについてよく知り、それぞれが持っている生活のリズムや希望に沿った個別ケアを行ない支援していく。
- ③ ご家族がどのような意向があるか、何か悩みなどがないかを確認をおこなう。
- ④ 医療機関との情報共有をおこなっていく。

4 支援の内容・結果（総括）

- ① ご利用者一人ひとりに合った、環境作りができたご利用者もいたが、ご利用者の意向より、ご家族の意向が優先になってしまった部分が多く見られてしまった。課題として、ご家族の考えと利用者の考えをどのような形でまとめていくか、どのように支援していくかを様々な角度から模索していく必要があると感じた。
- ② いつでも相談できるように連絡体制を整えました。また、どのように支援していけば良いのか、どこまでも関りを行えば良いのか苦慮することが多かった。個別ケアとしては、在宅での生活ができるように支援できたかと思えます。
- ③ ご家族や本人の意向に沿った介護支援ができた利用者が多かったと思えます。
- ④ 病院関係者などとの情報共有がとてもできたと思えます。
- ⑤ 事業運営については、登録定員25名に対して、平均20名の登録であった。前年度と比べて大きな増減はなかったが、ご利用者の入れ替わり多くて長く利用される方が少なかった年でした。また、年度末になって利用者が減少していきました。理由として、特別養護老人ホームに入所するご利用者や病院に入院して利用中止となる事案が多い年でした

5 研修会議の予定

職員 研 修	4月	感染症対策 ①	各 種 会 議	職員会議
	5月	ハラスメント防止研修		事故防止検討会議 運営推進会議
	6月	介護技術の再確認		職員会議
	7月	リスクマネジメント		事故防止検討会議 運営推進会議
	8月	小規模多機能ホームとは		職員会議
	9月	事業継続計画研修（災害）		事故防止検討会議 運営推進会議
	10月	緊急時の対応について		職員会議
	11月	感染症対策②		事故防止検討会議 運営推進会議
	12月	接遇について		職員会議
	1月	事業継続計画研修（感染症）		事故防止検討会議 運営推進会議
	2月	事故防止対策		職員会議
	3月	虐待防止・身体拘束防止		事故防止検討会議 運営推進会議

6 年間行事計画／防災計画

	行事計画	事業継続計画・防災計画
4月	お花見（ドライブ）	
5月		
6月	アジサイ見学	防災訓練
7月		
8月		
9月		事業継続計画訓練
10月		
11月	紅葉ドライブ	
12月		
1月		
2月	節分（食事）	防災訓練
3月		

令和5年度事業報告書／事業所名 ホームヘルプサービスリブケア千倉

1 施設概要

- (1) 施設の種類 訪問介護・訪問型独自サービス (指定番号) 1278200165
- (2) 所在地 千葉県南房総市千倉町平館686-1
- (3) 指定年月日 平成17年12月1日
- (4) 管理者 安田 恵子
- (5) 施設の概要 木造平屋建て

2 支援目標

- ①住み慣れた地域で自分らしく暮らしが出来、利用者や家族のやり方を大事にし、習慣を尊重しながら信頼関係を築き自立支援につなげる。
- ②感染症対策を常に意識し、ご利用者が利用を継続できるようにする。

3 支援方法

- ①利用者とコミュニケーションをとりながら、「出来ない事を補う」事を基本に意欲を引き出す様な声かけ、どうしたら出来る様になるか工夫しながら行う。
- ②利用者の出来る事、出来ない事、望んでいる事を職員間で共有し、ケアマネジャー等、他職種との連携を図る。
- ③コロナ等感染症予防対策について、職員間、関係機関、ご利用者・ご家族と最新情報の共有を行い、対策の周知徹底を行う。

4 支援の内容・結果（総括）

- ① コミュニケーションを図りながら出来る事出来ない事を見極め、ケアマネジャーに情報提供し共に行う身体介護に繋がったことで、ご利用者の残存機能を活かした支援ができ売上につながった。
- ② ご利用者の身体状況の変化について把握し、話を良く傾聴することで困っている事、望んでいる事を職員間で共有を行い、ケアマネジャーに報告相談し訪問回数の増加につながった。
- ③ 居宅介護支援事業所が把握をした場合、情報提供はあるがデイサービスで発生した場合の情報提供が無くコロナ感染していた利用者宅に知らずに訪問していて、後に発覚したケースがあった。感染予防を徹底していたため訪問した職員には感染しなかった。引き続き感染予防対策を徹底して行っている。

4 研修会議の予定

職員 研 修	4月	事業所内研修：業務継続計画・感染症	各 種 会 議	職員会議 毎月一回
	5月	事業所内研修：ヘルパーが行うべき 身体状況の確認		サービス担当者会議 随時 (ケアカンファレンス含む)
	6月	事業所内研修：ハラスメント防止対策		事故防止委員会
	7月	事業所内研修：感染症研修①		感染症対策委員会
	8月	事業所内研修：虐待防止・身体拘束①		高齢者虐待防止委員会
	9月	事業所内研修：業務継続計画・災害時		事故防止委員会
	10月	事業所内研修：リスクマネジメント		
	11月	事業所内研修：接遇		
	12月	事業所内研修：虐待防止・身体拘束②		高齢者虐待防止委員会
	1月	事業所内研修：感染症研修②		感染症対策委員会
	2月	事業所内研修：ハラスメント防止対策		事故防止委員会
	3月	事業所内研修：利用状況の報告、困難 事例解決のポイント		

5 年間行事計画 / 防災計画

	行事計画	防災計画
4月		
5月		
6月		訪問先等の避難場所・避難所の確認
7月		
8月		
9月		
10月		事業所・訪問先の避難経路確認
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

1 施設概要

- (1) 施設の種類 通常通所介護・第一号通所事業所(指定番号) 1278500028
- (2) 所在地 千葉県鴨川市天津2922-2
- (3) 管理者 松本 史佐子
- (4) 定員 20名

2 支援目標

ご利用者が安心して元気に過ごす
職員が心にゆとりを持ち余裕のある介護ができる
ご利用者の要望に応えられるような環境づくり

3 支援方法

職員間・ご利用者・ご家族との信頼関係を築く
研修・個人カンファレンス等を実施しスキルアップを図る
レクリエーションの充実と内容の見直し
職員の健康づくり
ご利用者・ご家族への言葉遣いを丁寧にする

4 支援の内容・結果（総括）

ご利用者が元気に過ごせるようにバイタル測定その他にご本人やご家族へ送迎時などに聞き取りを行なった。

職員が楽しく仕事をする事を心がけ、ご利用者にも安心感を与えるような介護が出来ているか職員間で利用者への対応等について時間をかけて話し合い共有し、心にゆとりを持てるように努めました。

ご利用者、ご家族に誠意が伝わるよう職員それぞれが言葉遣いに気を付けて丁寧な話しとケアができるように心掛けた。

5 各種会議

職員研修	4月	BCP（感染・災害）・接遇マナー	各種会議	事業所会議
	5月	身体拘束		事業所会議・防災会議
	6月			事業所会議
	7月	リスクマネジメント 地域で考える糖尿病患者ケア		事業所会議・事故報告改善計画
	8月	薬剤師による内服管理		事業所会議・虐待防止委員会
	9月	精神障害の理解 認知症の方の為の防災対策		事業所会議
	10月	BCP（自然災害） 地域包括センターの役割		事業所会議
	11月	ハラスメント		事業所会議・事故
	12月			事業所会議
	1月	感染症		事業所会議
	2月	ハンドセラピー		事業所会議
	3月	ノーリフトケア 高齢者虐待防止法 くらしの自立に向けた支援		事業所会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	買物リハ・落書きせんべい・出張駄菓子屋	BCP 火災による非常災害事業継続訓練
5月	いちご狩り・ヤクルト	
6月	出張駄菓子屋	
7月	すいか割り・ヤクルト	
8月	夏祭り・出張駄菓子屋	
9月	敬老会・ヤクルト	
10月	枝豆狩り・出張駄菓子屋	
11月	秋の運動会・ヤクルト	
12月	クリスマス会・出張駄菓子屋	
1月	初詣・ヤクルト	津波を想定した避難訓練
2月	節分会・出張駄菓子屋	
3月	ひな祭り会・ヤクルト	感染症 机上訓練

令和5年度事業報告／デイサービスセンターリブサニーサイド興津

1 施設概要

- (1) 施設の種類 通所介護・通所型独自サービス(指定番号)1272300136
- (2) 所在地 千葉県勝浦市興津 2636。
- (3) 管理者 石井 純代
- (4) 定員 月～金 各24名

2 支援目標

各職種との連携強化・居宅介護支援事業所、医療機関との連携を深め、福祉サービスにおける通所介護事業所の役割を理解し援助を行う

個々の有する能力と可能性を重視し、個々のニーズに合わせた企画・提供を行い、達成感を味わうことで心身の活性化に努める。

職員の介護の質、技術、技能の向上の為の研修・勉強会の参加

稼働率の安定・デイでの取り組みや企画を居宅介護支援事業所や包括、家族、地域にアピールすることにより定期的な新規利用を獲得し利用率の安定を目指します

3 支援方法

課題の目標を達成に近づけるように職員間でケアカンファレンスを行い在宅での生活が出来るように支援をしていく。

運動器具を使用したり、楽しむ行事を企画したりリクエストにも答えられるような柔軟なサービスを提供していきます(楽しんで参加してもらうようにスタンプカード、景品を出す)

外部、内部の研修に積極的に参加をして情報を共有し学んでいきます(リモート等)

広報活動に力を注ぎ、行事の報告や、利用中の方々への様子など定期的に報告する。また利用中の方々にイベントや行事の内容を積極的に伝え、思いを届けることを内部営業とし外部への営業は管理者、相談員が主となりスキームを確立致します。利用者への援助を効果的にサービスに結び付けられるよう連携を高める。

4 支援の内容・結果(総括)

課題の目標達成に向けて職員間でケアカンファを行うことが出来た。

居宅のケアマネとも連絡を密にとる事が出来た。

買物レクなど積極的に運動やリハビリに参加していただき景品を出すことで利用者も目標を目指すことができ楽しみながら身体を動かし頭の体操を行うことができた。

リブサニーサイド新聞を毎月発行し、家族や外部に観て貰うことで情報発信をする事ができた。

4 研修会議の予定

職員 研 修	4月		各 種 会 議	センター会議(毎月1回)
	5月	食中毒に関する研修		ケアカンファ(随時)
	6月			感染症対策(6か月1回以上)
	7月	ハラスメント		事故防止検討会議(3ヶ月毎)
	8月	脱水・口腔ケアに関する研修		虐待防止対策(随時)
	9月	高齢者虐待防止①		BCP計画
	10月			
	11月			
	12月	感染症研修①(インフル・疥癬・ノロ)		
	1月	感染症②(観察等)		
	2月	虐待防止②(通報・チェックリスト)		
	3月			

5 年間行事計画/防災計画

	行事計画	防災計画
4月	お花見・ご当地給食(沖縄)	非常用備品確認
5月	ご当地給食・菖蒲湯・万木城(つつじ)	
6月	紫陽花見学・	
7月	七夕会・出張駄菓子屋	
8月	夏祭り・流しそうめん	
9月	敬老会	避難訓練(災害)
10月	運動会・ハロウィン給食	
11月	作品展・紅葉狩・作品展	
12月	忘年会・クリスマス会・ゆず湯	
1月	新年会・初詣外出・出張駄菓子屋	
2月	節分(恵方巻、豆まき)・ビックひな祭り	非常用備品確認
3月	ひな祭り・ご当地給食(石川)	避難訓練(津波)

※毎月…誕生会実施

1 施設概要

- (1) 施設の種類 居宅支援事業所 (指定番号) 1272300227
(2) 所在地 千葉県勝浦市墨名56
(3) 管理者 畔田 友子
(4) 定員 名

2 支援目標

- ① 継続的なケアマネジメントを実施し、ご利用者の自立支援、ご家族の支援を行う。
- ② 地域の関係機関や多職種とのネットワーク構築。
- ③ 居宅支援事業所の質の向上

3 支援方法

- ① ・ご利用者の意思及び人格を尊重し、常にご利用者の立場に立って、ご利用者に提供される居宅サービスなどが特定の種類に偏することのないよう、公正中立に行う。
・健全な人間関係の中で生活を営むことのできる、個々のニーズに合った生活の場を提供する。
- ② ・ご利用者の心身の状況、そのおかれている環境などに応じて、ご利用者の選択に基づき、適切な保健医療及び福祉サービスが、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されるように配慮して行う。
・地域病院に入院中の患者のスムーズな在宅移行に向けて関係機関と連携を図り、在宅療養環境を整える。
- ③ ・感染症や災害への対応力強化に努め、ご利用者に必要なサービスが安定的、継続的に提供されるように取り組む。
・いかなる状況においても高齢者の尊厳を重視し「その人らしく」自由で、主体的な生活をサポートできるように自らの専門性を磨く。

4 支援の内容・結果（総括）

- ① 一人一人に適切なケアマネジメントを行うために、アセスメントに必要な質問力、情報収集力、洞察力を高めるための力をつけ公正中立に個別ニーズのサービスを提供できるように努めた。
- ② 医療、介護、福祉などの多職種や専門職との連携を積極的にとり、ご利用者の在宅移行へつなげることができた。
- ③ 法人、行政への研修に参加し、継続的かつ安定的にサービスを提供できるよう、自己スキルアップと同時に事業所全体の専門性の知識を高めることができた。

5 各種会議

職員研修	4月	新年度事業計画・接遇研修 感染症、災害に関わるBCPの作成	各種会議	勝浦市ケアマネ部会 御宿町ケアマネ暮改
	5月	倫理、法令順守 身体拘束の3原則と運用方法		ご利用者の緊急連絡先見直し 及び地域避難場所の確認
	6月	事例検討会 身体拘束の11の領域1・2		
	7月	行政主催認知症研修 事故発生再発防止リスクマネジメント		自立支援地域ケア会議
	8月	リスク管理 バイタル・水分ケア		車両事故防止会議
	9月	各種マニュアルの見直し BCP作成のポイント・ゾーニング (訪問)		
	10月	自然災害と感染症のBCPの違い 非常食、備蓄について 地域包括主催ケアマネ研修		
	11月	クラスター事例 感染症拡大防止体制と職員確保		車両事故防止会議
	12月	停電、断水		
	1月	認知症委サポート養成講座		
	2月			車両事故防止会議
	3月			

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月		災害時の備え(備品の確認)
5月		BCP及び災害発生時を想定机上訓練
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		災害発生時の避難経路の確認
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

1 施設概要

- 1) 施設の種類 認知症対応型共同生活介護 (指定番号)1270200171
(2) 所在地 千葉県千葉市花見川区花見川3-29-201
(3) 指定年月日 令和2年4月1日
(4) 管理者 澤田崇・中村富美子
(5) 定員 18名

2 支援目標

- ① 感染症が流行している為、感染対策を徹底し、万が一にも蔓延させない様環境を整備する。
② 入居者一人一人の特性を活かして、出来る範囲で自立支援を行う。

3 支援方法

- ① 電話機やドアノブ等、良く触る所への消毒や、手洗い、うがい等の徹底。こまめな換気を行う。
② 職員と一緒に作業や、お手伝いをしてもらおう事で、それぞれに役割を持ち充実した生活を送って頂く。寝たきりなど、それが難しい方には、表情や行動の変化に気を配り、見守りや声掛けを行う。

4 支援の内容・結果 (総括)

- ① 職員のマスク着用、手洗い、うがい、口腔ケア、室内の換気、消毒、栄養、睡眠、運動等を行った。
栄養…食事形態の調整等を行った。
睡眠…免疫機能改善に向けしっかり休んで頂ける様支援した。
又、職員一人一人が感染源を「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことを意識し感染予防を行った。しかし、換気面で日中は気温や天気や天候に左右される事があり、十分にできなかった部分もあった。
- ③ 利用者が住み慣れた地域で個々の能力に応じて、役割を持ち充実した生活が送れる様に支援を行った。(洗濯物を畳む・食器洗い、拭く・新聞をたたむ・野菜の皮むき等)
寝たきり状態の方に対しては、声掛けを行い、表情や行動の変化に気を配り、状態の改善、悪化防止に向けて支援を行った。

5 各種会議

職員 研修	4月	身体拘束虐待防止	各種 会議	身体拘束虐待防止委員会
	5月	感染症		事故対策委員会（車両含）
	6月	事故対策		感染症委員会・運営推進会議
	7月	身体拘束虐待防止		身体拘束虐待防止委員会
	8月	感染症		事故対策委員会
	9月	ハラスメント		ハラスメント委員会・運営推進会議
	10月	身体拘束虐待防止		身体拘束虐待防止委員会
	11月	感染症		感染症委員会
	12月	事故防止対策		事故対策委員会・運営推進会議
	1月	身体拘束虐待防止		身体拘束虐待防止委員会
	2月	感染症		感染症委員会
	3月	認知症		事故対策委員会・運営会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	花見	
5月	端午の節句	
6月	紫陽花鑑賞会	
7月	七夕	
8月	流しそうめん	
9月	敬老会	
10月	ハロウィン	
11月	紅葉鑑賞会	消防訓練（夜間・地震火災）
12月	クリスマス会	
1月	新年会	
2月	節分	
3月	ひな祭り	消防訓練（日中・風水害火災）

1 施設概要

- (1) 施設の種類 地域密着通所介護 (指定番号) 1270202599
- (2) 所在地 千葉県千葉市花見川区花見川3-26-103
- (3) 管理者 田村 葉子
- (4) 定員 15名

2 支援目標

- ① ご利用者・ご家族、関係機関との信頼関係を築けるよう、又、連携が取れる環境を作れるよう情報提供、収集に努める。
- ② 安全な状態を作り、ご利用者が安心して在宅生活が継続出来るよう支援していく。
- ③ 施設内は勿論、施設外研修にも積極的に参加しサービスの向上に努める。

3 支援方法

- ① ご利用者・ご家族に対し日々の状態から、事故防止対策（転倒・転落・誤嚥等）、病気にならない為のアドバイス（水分摂取、排泄、バイタルサインの重要性等）、対応方法の説明を行っていく。又、関係機関に対してもご利用者・ご家族の情報を都度伝え早期に問題解決出来るよう対応していく。
※新型コロナウイルス等もご利用者・ご家族含め関係機関と感染予防方法や感染した時の対応についても話し合いを再度行っていく。
- ② 日常生活動作に結びついたリハビリ、体操を行う。（またぎ動作・立ち座り・掴まる時に必要な握力の強化等）又、商店街や地域（あんしんケアセンター、商店街振興組合、UR相談窓口、自治会等）とのコミュニケーションをとり、顔の見える関係作り、災害や緊急時に協力し合える体制を整えていく。
- ③ オンライン等での介護技術、資質向上の為の研修を行う。（持ち上げない移動・移乗、接遇・職場のコミュニケーション等）

4 支援の内容・結果（総括）

- ① 職員全員がご利用者の状態を把握、情報を共有し担当ケアマネージャー、関係機関への報告を都度行いご利用者の状態を悪化させないように努めた。
- ② 機能訓練として、エアロバイク・平行棒を使用し下肢運動を実施した。又、感染予防を行いながら商店街での歩行訓練を行い下肢筋力低下防止に努めた。
- ③ オンライン研修は実施したが、介護技術等の研修が出来なかった。

5 各種会議

職員 研修	4月	介護技術、転倒・転落・入浴事故	各種 会議	デイ会議
	5月			デイ会議 入浴時事故
	6月	ハラスメント対策		デイ会議
	7月			デイ会議
	8月	緊急時対応		デイ会議
	9月			デイ会議
	10月	送迎中の事故対応		デイ会議 運営推進会議
	11月			デイ会議
	12月	感染症		デイ会議
	1月			デイ会議
	2月	高齢者虐待防止		デイ会議 車両事故
	3月			デイ会議 運営推進会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見（外で食事会）	
5月	外食	
6月		
7月		避難訓練
8月	納涼祭	
9月	敬老会	
10月		
11月	運動会	
12月	クリスマス会	避難訓練
1月	初詣、外食	
2月	節分	
3月	ひな祭り	

1 施設概要

- (1) 施設の種類 居宅介護支援 (指定番号) 1270200908
(2) 所在地 千葉市花見川区花見川3-29-101
(3) 指定年月日 平成28年6月1日
(4) 管理者 平野 美香

2 支援目標

「住み慣れた地域で最後までその人らしく暮らす」という地域包括ケアの理念を維持する為にもご利用者・ご家族様のニーズに早急に対応し、特定事業所としての責務を果たす事を目標とする。

3 支援方法

千葉市が27%の高齢化の中で花見川団地は40%以上の高齢化率であると
言われている。老々介護問題、独居で身寄りのない高齢者、8050問題など多くの問題を
抱えている高齢者も多い。

的確な支援が行えるように特に以下の点に留意していく。

□ケアマネジメントの質の向上

- ・アセスメント時にフェルトニーズとノーマティブニーズの見極めが出来、
専門家として冷静にアセスメントに落とし込むことが出来る。

□今後、更に増えると予測される困難事例に関して。

- ・問題の所在を明確化する力を伸ばす。
- ・困難事例に関して事務所内全体で問題を共有し、対処法を検討する。
- ・ハラスメントや虐待について、知識を深める。

□研修・事例検討等を通して以上の内容を深く学ぶ機会を持つ。

□BCP 計画作成・研修

- ・特段の状況に対して、平時から対応出来る様に準備を行う。

4 支援目標・方法総括

職員の退職に伴い、特定事業所加算を令和5年6月に外した。

しかし、特定事業所としての位置は外れたが花見川地区におけるケアマネの責務と地域包括ケアの構築の為に意識を高く持って1年間活動してきた。

地域包括支援センターや主任ケアマネ会議にも積極的に参加し、地域の情報、行政の動きについて細かく情報収集を行うように心がけた。

令和6年度は、常勤スタッフも一人増員できたこともあり、再度、特定事業所加算を習得し、地域に貢献できる事業所として、更に研鑽を深めたい。

5 各種会議

職員 研修	4月	BCP 計画見直し・研修	各種 会議	毎週、定例会議・事故防止検討会議
	5月			毎週、定例会議
	6月	ハラスメントもしくは虐待研修		毎週、定例会議
	7月			毎週、定例会議・事故防止検討会議
	8月			毎週、定例会議
	9月	特定事業所合同研修会開催		毎週、定例会議
	10月			毎週、定例会議・事故防止検討会議
	11月			毎週、定例会議
	12月	BCP 計画見直し・研修		毎週、定例会議
	1月			毎週、定例会議・事故防止検討会議
	2月	認知症研修		毎週、定例会議
	3月			毎週、定例会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事計画	防災計画
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		消防訓練